



YKK概要

2019年3月4日
YKK株式会社ファスニング事業本部
アパレル事業推進室
増田拓也



本日のプレゼン内容

- ①YKK 会社概要
- ②YKK パキスタン社

YKKグループ 会社概要

YKK

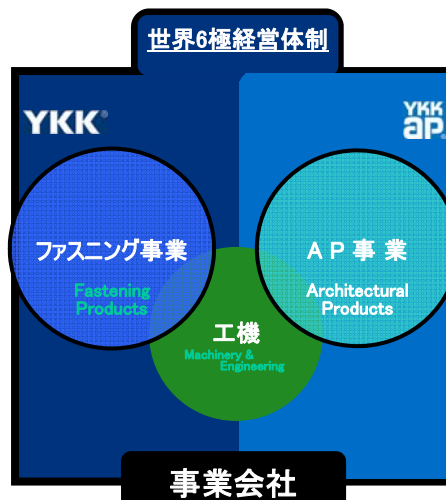
- 代表取締役会長 猿丸 雅之
- 代表取締役社長 大谷 裕明
- 事業概要： ファスニング・建材・ファスニング加工機械 及び 建材加工機械等の製造・販売
- 創業： 1934 (昭和9) 年1月1日
- 本社所在地： 東京都千代田区神田和泉町1
- 資本金： 119億9,240万500円 ※2018年3月31日現在
- グループ会社： 世界73ヶ国/地域111社 (国内21社 海外90社)
※2018年3月末現在
- 従業員数： 45,618名 (国内 17,826名 海外 27,792名)
※2018年3月末現在
- 連結売上高： 7,477億円 (ファスニング 3,240億円 AP 4,175億円 他)
※2017年度実績に基づく

©2019 YKK CORPORATION

YKKグループ 経営体制

YKK

ファスニング事業・AP事業を中核としたグローバル事業経営体制



YKKグループの経営体制は、中核となるファスニング事業とAP事業、そして両事業の一貫生産を支える工機によるグローバル事業経営と世界6極による地域経営を基本としている。

©2019 YKK CORPORATION

YKKグループ グローバル体制



国・地域数	73カ国・地域
会社数	111社

©2019 YKK CORPORATION

2019 YKKアジアグループ拠点



©2019 YKK CORPORATION

■**YKK精神** 創業者吉田忠雄の企業精神であり、YKKグループの基本姿勢を表現したものです。



「善の巡環」

他人の利益を図らずして自らの繁栄はない

企業は社会の重要な構成員であり、共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより社会からその存在価値が認められるものです。YKKの創業者吉田忠雄は、事業を進めるにあたり、その点について最大の関心を払い、お互いに繁栄する道を考えました。それは事業活動の中で発明や創意工夫をこらし、常に新しい価値を創造することによって、事業の発展を図り、それがお客様、お取引先の繁栄につながり社会貢献できるという考え方です。このような考え方を「善の巡環」と称し、常に事業活動の基本としてまいりました。私達はこの考え方を受け継ぎ、YKK精神としています。

■**経営理念** 事業を繁栄させるための基本的な考え方で、経営の使命・方向・主張を表現しています。

「更なるCORPORATE VALUEを求めて」



YKKは、更なるCORPORATE VALUE(企業価値)を求めて、7つの分野に新たなQUALITY(質)を追求します。

YKKグループは、お客様に喜ばれ、社会に評価され、社員が誇りと喜びを持って働ける会社でありたいと考えています。そのための手段として、商品、技術、経営の質を高めていきます。そして、これらを実践するにあたって常に根底にあるのが「公正」であり、これを価値基準として経営判断を行っていきます。

YKK

Little Parts. Big Difference.

~ Competing with excellent products and innovative technology ~



ジッパー



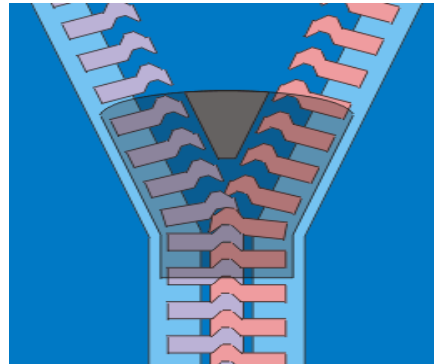
スナップボタン



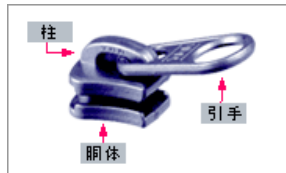
繊維/樹脂製品



ファスナーの構造



■スライダーの構造



©2019 YKK CORPORATION

YKKファスナーの分野別使用例



©2019 YKK CORPORATION



明石海峡大橋の排水溝

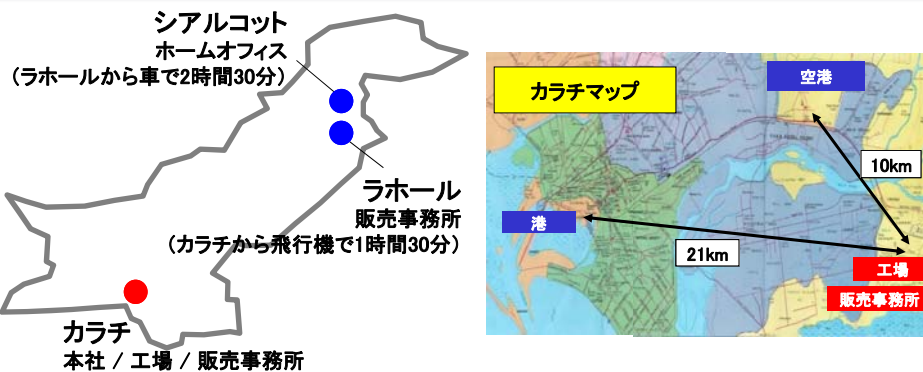


本日のプレゼン内容

- ① YKK 会社概要
- ② YKK パキスタン社

YKKロケーション と YKKパキスタン社歴史

YKK



- 1962 “YKK”が商標登録される
- 1998 カラチに連絡事務所開設
- 2001 ラホールに連絡事務所開設
- 2006 YKKパキスタン社設立
- 2007 カラチ工場完工、ファスナー生産開始
- 2012 カラチ工場第2期完工、増産体制

©2019 YKK CORPORATION

YKKパキスタン社 カラチ工場

YKK



(Land Area) 50,716 square meters

(Building Area) 18,000 square meters

©2019 YKK CORPORATION

市場環境

- ・ 世界4位の綿花生産を生かした欧米向け衣料品輸出の確実な伸長
- ・ 衣料品クォータ撤廃直後の2005年も綿製品中心に衣料輸出が増加
- ・ ムシャラフ政権の安定と印パの関係改善により投資環境は改善 (JETRO)
- ・ 大手縫製業者の積極的な設備投資と政府の産業支援で競争力向上

基本方針

- ・ スーパーナンバー1の地位確立の為、パキスタン現地生産を開始
- ・ 現地生産化に伴う大幅な納期改善による顧客満足度の極大化
- ・ 2006年会社設立・工場建設開始 2007年中の生産立ち上げ

投資

総投資額: 1,503万ドル (2006年-2010年)
 土地 : 50,000㎡
 建屋面積: 10,000 ㎡ (第1期)

2006-2007 YKKがEPZ(保税區)に本社/工場設立した背景

項目	輸出加工区 (EPZ) 内	EPZ外	
		保税工場 (BOI認可)	一般工場
・輸出縫製メーカーへのファスナーの販売が輸出と見做させれるか?	○	○ (?)	×
・輸出義務 (○:無し、×:有り)	×	×	○
・資本財(建築資材等)の輸入に対して輸入税免除	○	○ (?)	×
・機械、スペアパーツ、原材料等の輸入に対する輸入税免除	○	○	×
・販売、輸出入に派生する物品税、売り上げ税	○	○ (?)	×
・為替管理 (送金の自由等)	○	○ (?)	×
・輸出入手続きの容易さ	○	△	×
・法人税免除	○	×	×
・労働諸法の適用 (○: 適用外、×: 適用)	○	×	×
・インフラの整備	○	△	×

○(?) → BOI (投資局) との交渉次第

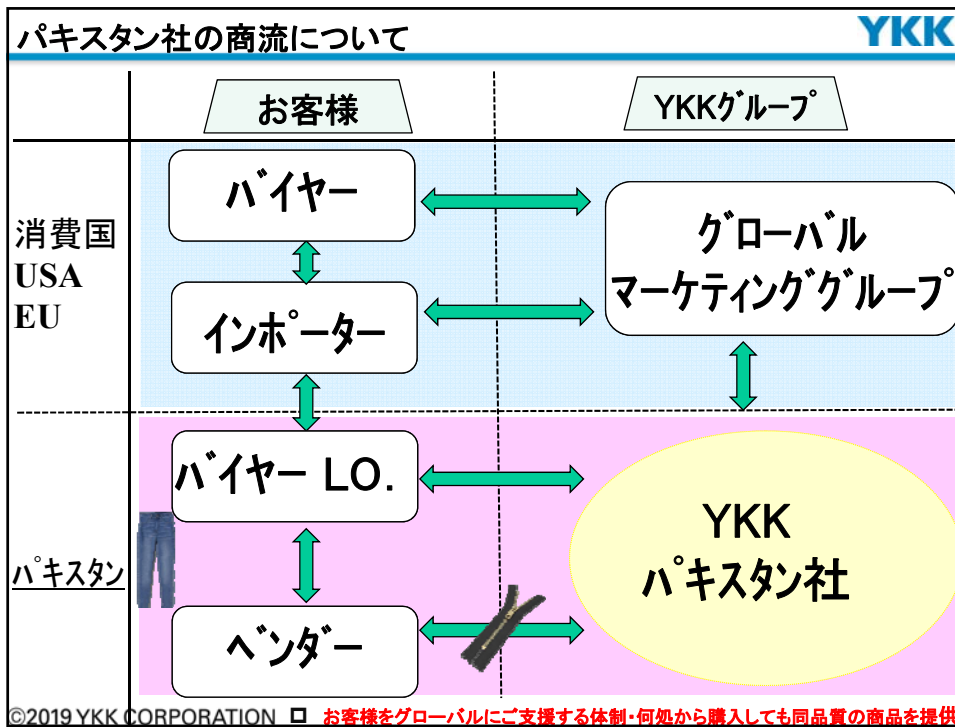
EPZが圧倒的に優位

刈外要素

*EPZ地区で加工輸出業者への製造・販売は間接輸出と認められ、輸出加工業者と同様の特典が付与される。
 Ex. 法人税, 輸入税等

テ 刈外要素

*輸出手続き書類の準備
 *分納出荷をした場合の手数料加算
 *国内顧客が輸出加工区から商品を購入した場合、製造業には29%、卸問屋には57%のTAXがかかる。



YKKパキスタン社 CSR活動 **YKK**

<p>現地学生の社会科見学</p> 	<p>植樹活動(CO2の削減)</p> 
<p>省エネルギー活動(LED切替)</p> 	<p>排水処理プラントの設置</p> 

©2019 YKK CORPORATION

**ご静聴頂き、
有難うございました**

©2019 YKK CORPORATION